

Let's Read ~ An Artist in the Arctic ~

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力 他者とかかわる力
自己形成力**単元について**

○単元観

本単元は、写真家である星野道夫の人生と、彼が写真を通して伝えようとしたメッセージについての説明文について、要点を読み取るとともに感想や意見を述べるのに適した内容となっている。説明文や美しい彼の写真からは、自然の美しさ、厳しさ、かけがえのなさを感じ取ることができるとともに、中学校卒業を目前に控えた生徒たちが、将来の生き方について考えを持ったり仲間と共有したりすることができる題材でもある。従って、中学校学習指導要領の「ウ 読むこと（ウ）物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。」「ウ 読むこと（オ）話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。」に関する指導として位置付け、単に題材の内容理解に留まることなく、生徒たちが自らの体験や考えなどに照らし合わせながら読むよう指導し既習表現を用いて感想や意見を表現させる活動を通して、題材の内容をより深く適切に理解できる力を養う。

○生徒観

本学級の生徒は、発言やペア活動に意欲的である。生徒同士で、教え合いができる人間関係が作られており、グループ学習がスムーズに進むことが多い。だが、生徒間での学力差もはっきり現れるようになり、学習への意欲を失いつつある生徒も数名いる。

「4 技能の中でどれが好きか。」というアンケートを実施し、結果は「聞く」が53%、「話す」が75%、「書く」が68%、「読む」が48%であった。「読む」活動の中でも、長文の内容理解を苦手とする生徒が多い。原因としては、普段からまとまりのある英文に接する機会が少なく量に慣れていないことが挙げられる。そのため、理解が浅くなり内容に関する明確な自分自身の意見を持ちにくくなっている。

○指導観

「読む」ことへの動機付けのため、最初にピクチャーカードを使用して生徒とやりとりをする中でアウトラインをつかませたい。また、写真家である星野道夫の生き方や思いをQ&Aを行うことで理解させたい。Q&Aは、本文を読めば答えが見つかる事実発問だけではなく、「その後どうなったとおもうか。」「あなたが星野道夫ならどうするか。」など個人的な反応を求める推論発問も併用する。答えが1つでない推論発問を行うことで、学習への意欲を喚起したい。また、この発問を教師が生徒へ行うだけでなく生徒自身に作らせることで、本文の内容を自分の言葉で説明する力を育てたり、内容に関するより深い理解を求めたい。

単元 の 目 標

- (1) 教師のオーラルイントロダクションを、アイコンタクトを保ちながら聞いている。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 推論発問を積極的に作っている。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (3) 推論発問を作る。
 (理解の能力)
- (4) まとまりのある英文にタイトルをつける。
 (理解の能力)
- (5) 地球環境保護に関する自分の意見を持つ。
 (言語や文化についての知識・理解)

単元 の 評 価 規 準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 教師のオーラルイントロダクションを、アイコンタクトを保ちながら聞いている。 ② 推論発問を積極的に作っている。	/	① 推論発問を作る。 ② まとまりのある英文にタイトルをつける。	① 地球環境保護に関する自分の意見を持つ。

資 質 ・ 能 力 と 評 価 の 観 点 と の か か わ り

本校の育てようとする資質・能力				評価の観点			
				関	表	理	知
知識							○
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①学習したことを使って、自分の考えをまとめる力 ②根拠をもとに、正しい判断をする力 ③よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 ④自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力			○	
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら考え、判断し、行動する力	○			
価値観倫理観	他者とのかかわる力	他	①他者と協力（協働）して、課題を解決しようとする力 ②他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりする力			○	
	社会貢献力	社	①地域のよりよい社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力				
	自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力				○

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価					
			関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
1	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 星野道夫に関する本文の概要を理解する。 星野道夫の撮影した写真を見て感想や意見を言う。 	○				アー① (活動の観察)	◆地球環境保護に関する自分の意見を持つことができる。【自②】
2	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要を理解する。 本文に関する推論発問を作ることができる。 	○				アー①② (活動の観察)	◇教師のオーラルイントロダクションを、アイコンタクトを保ちながら聞いている。【主①】 ◇推論発問を積極的に作っている。【主①】
3 4 5 6 7	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要を理解する。 本文に関する推論発問を作ることができる。 			○		ウー① (ノート)	◆推論発問を作る。【思①】
8	まとめ・創造・表現	<ul style="list-style-type: none"> 各ページにタイトルをつける。 			○		ウー② (ワークシート)	◆要点をつかみキーワードで表す。【思①】
9	実行	<ul style="list-style-type: none"> 星野道夫の撮影した写真から1つを選び、感想や意見を英文で書く。 				○	エー① (ワークシート)	◆地球環境保護に関する自分の意見を持つことができる。【自②】
10	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 				○		

本時の学習

(1) 本時の目標

本文をよく読んで、推論発問を作り書くことができる。

(2) 準備物

ワークシート, ピクチャーカード

(3) 学習過程 (2時限目/10)

情報収集

整理・分析

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○指導上の配慮事項 ◆支援を必要とする生徒への手立て	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (5分)	1 英語係による号令 あいさつ 2 Warming up スーパーインプット (K)…繰り返し挑戦する) 3 本時のめあてを確認する。	○ペアで一人に日本語を、一人に英語を言わせる。	
【本時のめあて】 本文に答えがない発問を作ろう。			
展開 (40分)	4 本文理解 5 推論発問を作る。 (J)…じっくり考える) 6 全体で発表する。 (H)…はっきり表現する)	○ピクチャーカードを使い、教師との問答を入れながらオーラルイントロダクションを聞かせる。 ○Q&Aの答えを探すつもりで黙読させる。 ○まず1人で考えさせ、グループで交流する。 ◆日本語で考えさせ、辞書を使用させる。 ○ホワイトボードに書かせる。 ○ホワイトボードを黒板に貼り全体に共有させる。	アー① 教師のオーラルイントロダクションを、アイコンタクトを保ちながら聞いている。 アー② 推論発問を積極的に作っている。 ウー① 推論発問を作る。
まとめ (5分)	8 本時のまとめをする。 9 振り返りを書く。 10 英語係によるあいさつ	○他の発表を聞いて考えたことやわかったことを書かせる。	